



しもの幸助 県政レポート

三重県議会議員（鈴鹿市選出）

しものこうすけ
下野幸助（41歳）

【現在の主な役職】

- ① 総務地域連携常任委員会 委員長
- ② 働き方改革調査特別委員会 委員
- ③ 四日市港管理組合議会議員
- ④ 予算決算常任委員会 委員
- ⑤ 議会改革推進会議 幹事
- ⑥ 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟 副会長



インターハイ(全国高等学校総合体育大会)開催まで、残り**206**日です。
皆様ご声援よろしく
お願いします。

最新情報を
知りたい方は



発行：三重県議会議員しもの幸助事務所 〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1 TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

平成29年度 三重県議会議員 しもの幸助 県政10大ニュース

1 多文化共生事業 三重県立みえ夢学園

2017年1月25日 日本語支援公開授業視察

三重県内には平成28年末現在、外国人住民が43,445名(鈴鹿市7251名)、外国人比率2.36%(鈴鹿市3.62%)登録されています。文化的背景の異なる人びとの共生から生まれる活力が、地域課題の解決のポイントです。特に日本語支援など教育分野での改善を踏まえつつ皆様と一緒に築く多文化共生社会をめざして行きます。



2 公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業

2017年3月19日 第一期工事完成式典出席(稲生小学校)

公共施設等先進的CO2排出削減対策モデル事業は環境省の補助金を活かし、全国で4校のみが事業認定を受けた先進的な環境事業です。体育館照明のLED化、その電気は学校屋上の太陽光発電で賄われています。今年度末までに全公立小中学校(40校)に整備される予定です。



3 第27回全国菓子大博覧会・三重

2017年4月20日 プレイベント出席

全国菓子大博覧会は4年に1度、100年以上の歴史ある菓子の博覧会で、4月21日から24日間にわたり三重県営サンアリーナ(伊勢市)で行われ、58万人が来場し、大盛況のうちに閉幕を迎えました。引き続き、食関連産業をはじめとする地域産業の活性化に取り組んでいきます。



4 総務地域連携常任委員会

2017年5月26日 委員長就任

総務地域連携常任委員会は三重県庁の総務部、地域連携部の二つの部の事業において、県民を代表し調査・審査を行う委員会で、6つある行政部門別常任委員会で1番予算額が大きく、2021年三重とこわか国体、リニア中央新幹線推進、南部地域活性化などの事業が所管事項に含まれています。



5 三重県動物愛護センター「あすまいる」

2017年5月28日 開所記念式典出席

「あすまいる」はアニマルとスマイルの造語で、「あすまいる」では犬や猫の譲渡を進めるとともに、飼い主のいない猫の減少に向けた取組や動物愛護教室などの普及啓発活動を行い、犬・猫の引取り数の減少、近い将来には殺処分数ゼロに向けた取組みなどを推進します。



6 中部国際空港に関する要望書を国に提出

2017年7月5日 菅内閣官房長官 要望書提出

2027年度のリニア中央新幹線名古屋開業に伴う5千万人リニア大交流圏の誕生を見据え、中部国際空港二本目滑走路の整備について早期の実現を図り、道路を始めとする空港へのアクセス網の充実に向け、積極的に取り組まれるよう国へ要望しました。



7 鈴鹿環状線 磯山バイパス(II期)工事

2017年8月4日 知事要望説明

鈴鹿市の東西を結ぶ重要幹線道路である「鈴鹿環状線 磯山バイパス」のII期工事建設促進(1.7km)について、地元協議会(会長:市川哲夫市議会議員)の関係者とともに鈴木知事に対し、継続的な予算(用地買収、設計費用等)などを要望しました。



8 鈴鹿市海岸整備促進協議会

2017年8月23日 地元関係者説明

三重県では2012年度から2014年度まで3か年で海岸堤防の老朽化対策を行い、鈴鹿市でも34か所対応しました。今後は、津波浸水想定地区自治会をはじめ、地元の関係者との情報共有、要望活動を推進し、県および鈴鹿市海岸整備促進協議会との連携を図り、計画的な改築・整備に努めていきます。



9 ISAK:インタースクール オブ アジア 軽井沢 視察

2017年11月20日

日本初の全寮制国際高校(ISAK)を視察しました。ISAKでは世界58ヶ国、172名(日本人約3割)の高校生が軽井沢でともに学び、生活を送っています。授業も生活も基本的には英語で話し合い、学校はまさにインターナショナルでした。国際化が進むとともに経済が成熟する日本でもダイバーシティ(多様性)を認めつつ、創造性を養う教育が重要視されています。三重県でも昨年開催した伊勢志摩サミットを契機に、子どもたちの国際交流も頻繁に行われ、今月23日には第1回世界子どもサミットが開催(伊勢市)されました。子どもたちの無限の可能性、視野を大切にしていきたいと思えます。



10 三重県議会新政みえ(県議21名所属)

平成30年度予算政策要望 知事説明

2017年12月12日

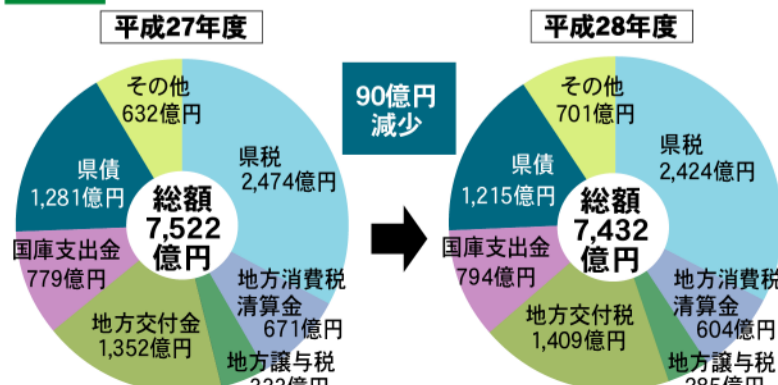
三重県議会新政みえから来年度に向けて「平成30年度予算政策要望書」を三重県知事に提出し、説明を行いました。予算政策要望書では重点要望項目5点(1.防災対策 2.地方創生 3.行政事務等のIT・クラウド化の推進 4.収入確保策の推進 5.子どもの育ちの保障)および要望項目50項目について説明を行いました。県民の皆様のご貴重なご意見をいただき、取り組んでまいります。(詳細につきましては新政みえホームページをご参照願います)



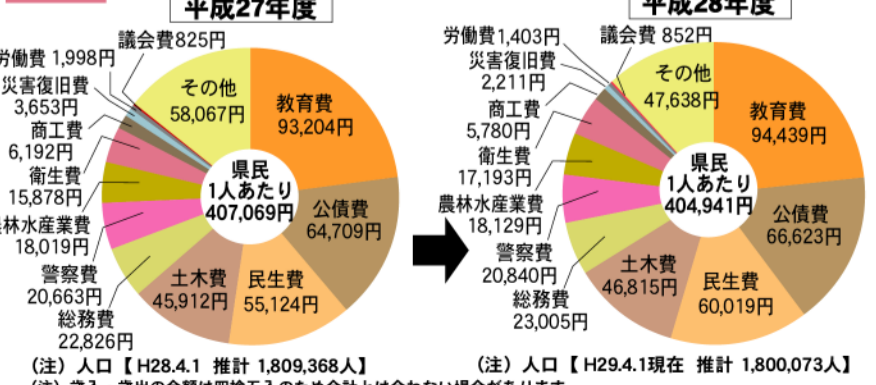
三重県平成27年度及び28年度一般会計の決算内容の推移

三重県民一人当たりに使われる額

歳入



歳出



平成29年三重県議会定例会(10月)下野幸助議員、一般質問に登壇。

平成29年9月29日に本会議場にて下記4項目について一般質問(60分)を行いました。

1. 三重県の人口減少対策(社会減対策)について
 - (1) 専門学校・大学(学部)等の教育環境の拡充
 - (2) 三重の特性を生かした若者の雇用対策
2. 三重県の子ども貧困対策、いじめ・不登校対策について
3. 三重県の福祉医療費助成制度(子ども・一人親家庭等・障がい者)の理念と今後の方向性について
4. 三重県の交通事故対策について



2. 三重県の子ども貧困対策、いじめ・不登校対策について

下野質問 子どもの貧困対策調査特別委員会で提言した子どもの居場所づくり、学習支援についてどのように取り組んでいるのでしょうか。また今後、どのように進めようとしているのでしょうか。

局長答弁 県では、「三重県子どもの貧困対策計画」に基づき、平成28年7月に、県、市町、関係団体で構成する「三重県子どもの貧困対策推進会議」を設置し、学習支援や保護者の就労支援など、子どもの貧困対策を総合的に取り組んでいるところです。居場所づくりについては、特に、最近地域に広がりつつある子ども食堂に着目しており、現在県内で運営されている26箇所の子どもの食堂の実態調査を行い、その現状や課題について把握しているところです。

■不登校児童生徒数(小中学校、県立高等学校)と比率

児童/生徒数	H23	H24	H25	H26	H27	H27比率(全数)
小学校	353	391	489	456	443	0.5% (96,501)
中学校	1,453	1,356	1,336	1,447	1,478	3.0% (49,716)
県立高校(全日・定時)	698	780	846	586	584	1.5% (39,324)
計	2,504	2,527	2,671	2,489	2,505	1.4% (185,541)

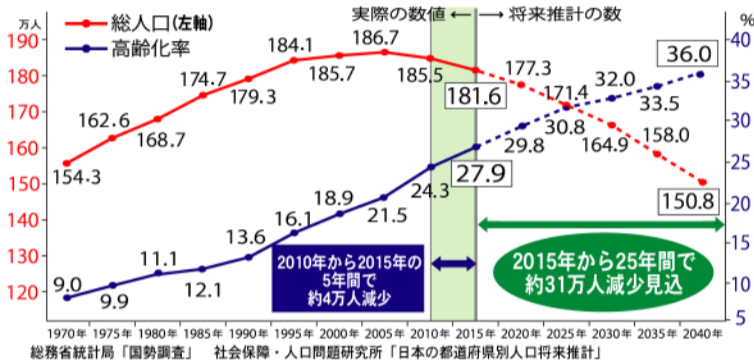


1. 三重県の人口減少対策(社会減対策)について

下野質問 若者の県外流出対策は特に重要な課題です。本県では大学進学希望者の約8割が県外に進学し、その多くが県外に就職しています。そこで、社会的な需要が高まっている外国語学や観光学等を専門的に学んだグローバル人材の育成に力を入れるよう、県内の大学等に学部の新增設を働きかけるべきだと考えますがいかがですか。

部長答弁 県が平成28年に策定した「三重県教育施策大綱」の基本方針の中でも、グローバル教育を進めるとしており、取組の充実を図っています。学部の新增設は大学等の経営感覚がすぐれて問われるものであり、県としては情報収集に努め、大学等に動きがあればタイミングを逃さず働きかけを行っていきます。

■三重県の総人口・高齢化率の推移と将来推計



■三重県年間人口減少数(直近3年実績) 単位:人

人口減少要因	2014年実績	2015年実績	2016年実績	直近3年間人口減少数(3年合計)
①自然減少 出生数-死亡数	5,798	6,189	6,628	18,615
②社会減少 転入数-転出数	2,839	4,218	3,597	10,654
三重県 年間人口減少数(①自然減少+②社会減少)	8,637	10,407	10,225	29,269

県民人口183.3万人→179.9万人(2013年12月) (2017年8月) 今後、三重県では毎年1万人以上の人口減少へ



3. 三重県の福祉医療費助成制度(子ども・一人親家庭等・障がい者)の理念と今後の方向性について

下野質問 子ども医療費助成制度を小学校6年生まで拡大した時の判断基準は何だったのでしょうか。また、子ども医療費助成の現物給付化を進めようとしている理念は何なのでしょうか。

知事答弁 子ども一人当たりの子ども医療費助成額の比較では、全国で4番目に高い水準となっており、子育て支援に対する本県の姿勢を表しているものと考えています。こうした中、市町や関係団体からの要望が多い子ども医療費の現物給付化について、検討を行ってきたところです。導入にあたっての政策目的を「貧困対策」とし、その検討案について、市町に提示したところです。県内一斉導入のためには、すべての市町の賛同が必要であり、今後、県が提示した案に対する意見を集約してまいります。

■三重県福祉医療費助成制度(三公費)の経緯と現状

※三公費とは、子ども医療費・障がい者医療費補助金補助金・一人親家庭等医療費補助金のことです。

年齢	子ども医療費制度改正年月(入通院引上)	子ども医療費補助金	障がい者医療費補助金	一人親家庭等医療費補助金
12歳	2012年9月	23.2億円(全国5位)	21.8億円(全国11位)	4.6億円(全国14位)
6歳	2008年9月	※平成28年度助成額(合計49.6億円)、平成27年度決算額(三公費 全国4位)		
4歳	2003年9月	①国のペナルティーは0~6歳児まで廃止⇒第一段階で6歳児(未就学児)まで引上要望		
3歳	2003年9月	②将来的に未就学児全員へ拡大を要望(0~6歳児/約10万人)		
2歳	1997年4月	県当局は0~4歳児まで(所得制限有)検討 ※鈴鹿市の助成額5カ月平均5.5%増(H28年度比)		
0歳	1973年10月	(4~8月 0~3歳児実績)		

県民ニーズに応じて制度改正(年齢引上)を実施 福祉医療費助成制度の理念を協議し、現物給付(窓口負担)の早期導入を要望



鈴鹿市の幹線道路工事進捗状況

路線名	事業箇所	事業延長(km)	平成29年度事業費(千円)	備考(完成年度など)
① 新名神高速道路	四日市JCT~亀山西JCT	27.8	約3500億円(総事業費)	平成30年度完成予定
② 中勢バイパス7工区	津市河芸町~御園町	2.9	—	平成30年度完成予定
③ 中勢バイパス4工区	野町~北玉垣町	2.8	—	—
④ 鈴鹿四日市道路(北勢バイパス)	稲生町~四日市市采女町	7.5	—	未事業化区間
⑤ 神戸長沢線(II期)	伊船町~長澤町	1.3	2,000	—
⑥ 鈴鹿環状線磯山バイパス(II期)	徳田町~五祝町	1.8	90,317	—
⑦ 鈴鹿環状線国府バイパス	平野町~国府町	2.0	3,000	事業費 2,000(事業進捗による減)
⑧ 国道306号伊船バイパス	伊船町~長澤町	0.7	105,371	事業費 43,144(事業進捗による増)
⑨ 国道306号 椿一宮	山本町~椿一宮町	0.2	43,485	—
⑩ 市道 汲川原橋徳田線(1期)	庄野羽山3丁目~平野町	0.9	516,127	—
⑪ 市道 汲川原橋徳田線(II期)	平野町~国府町	1.3	—	事業認可申請の調整中
⑫ 市道 山本172号線	山本町~椿一宮町	3.3	119,000	平成30年度完成予定

①~④ 国管理 ⑤~⑨ 県管理(国道3桁道路は県管理) ⑩~⑫ 市管理

三重県議会議員 新政みえ所属

しもの幸助事務所

〒510-0244 鈴鹿市白子町2977-1
TEL:059-387-0721 FAX:059-387-0722

しもの幸助公式ホームページ
http://www.k-shimono.com

最新の活動状況がご覧いただけます

皆様からのご意見をお待ちしています。
お気軽にご連絡ください。



■三重県議会議員 しもの幸助プロフィール

1976年11月 鈴鹿市に生まれる 現在41歳
1983年 3月 私立第二さくら幼稚園 卒園
1989年 3月 鈴鹿市立白子小学校 卒業
1992年 3月 鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 卒業
1997年 3月 国立鈴鹿工業高等専門学校電気工学科 卒業
1999年 3月 国立豊橋技術科学大学電気・電子工学課程 卒業
1999年 4月 国立サウスバンク大学 英国留学(聴講生留学)
2001年10月 内閣官房(国家公務員/内閣事務官)
2008年 3月 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 修了(MBA取得/経営学)
2008年 3月 アイシン精機株式会社経営企画室入社
2010年11月 同社退社
2011年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 初当選
2015年 4月 三重県議会議員選挙(鈴鹿市選挙区) 2期目当選
2016年 5月 四日市港管理組合議会 議員
2016年11月 中部国際空港拡充三重県議会議員連盟副会長 就任